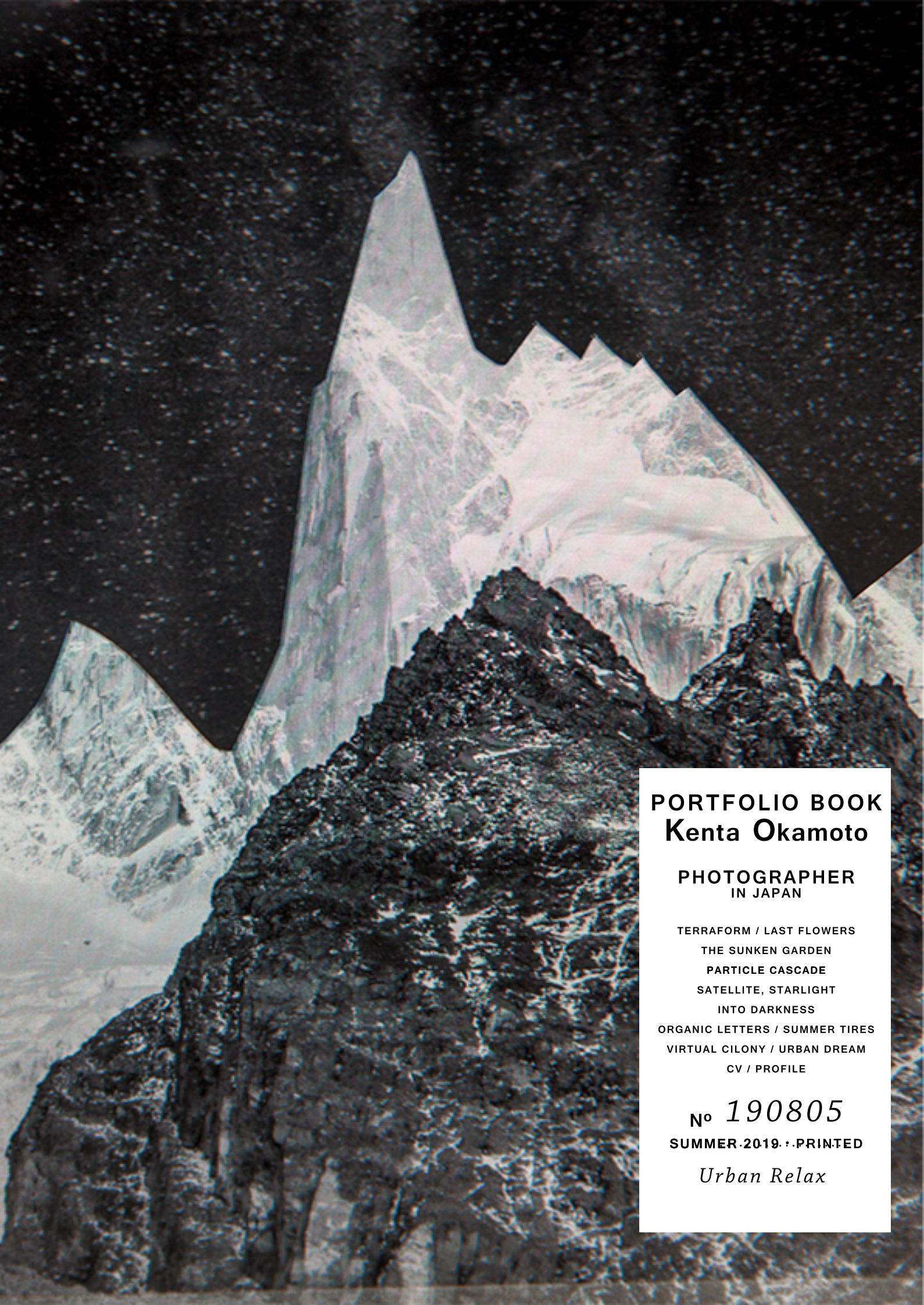




PORTFOLIO BOOK
Kenta Okamoto

PHOTOGRAPHER
IN JAPAN

TERRAFORM / LAST FLOWERS

THE SUNKEN GARDEN

PARTICLE CASCADE

SATELLITE, STARLIGHT

INTO DARKNESS

ORGANIC LETTERS / SUMMER TIRES

VIRTUAL CILONY / URBAN DREAM

CV / PROFILE

Nº **190805**

SUMMER 2019. • PRINTED

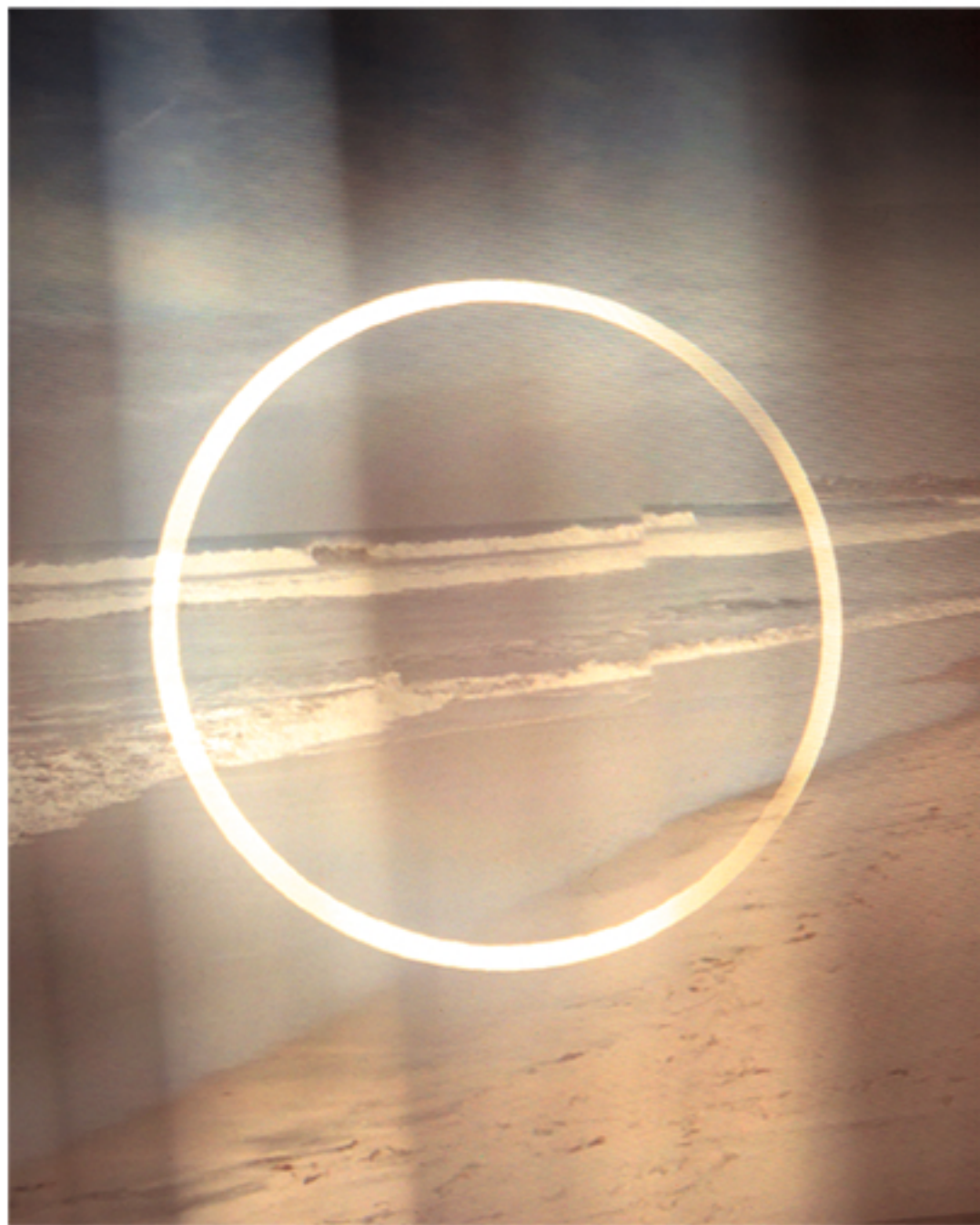
Urban Relax



TERRAFORM

INTERNATIONAL TRAVEL AND STARS

2017-2018











Last Flowers
VISIBLE LIGHT / INVISIBLE RAY
2017





THE SUNKEN GARDEN

D 9 λ M ! 8 p f D 9 λ M ! 8 p f

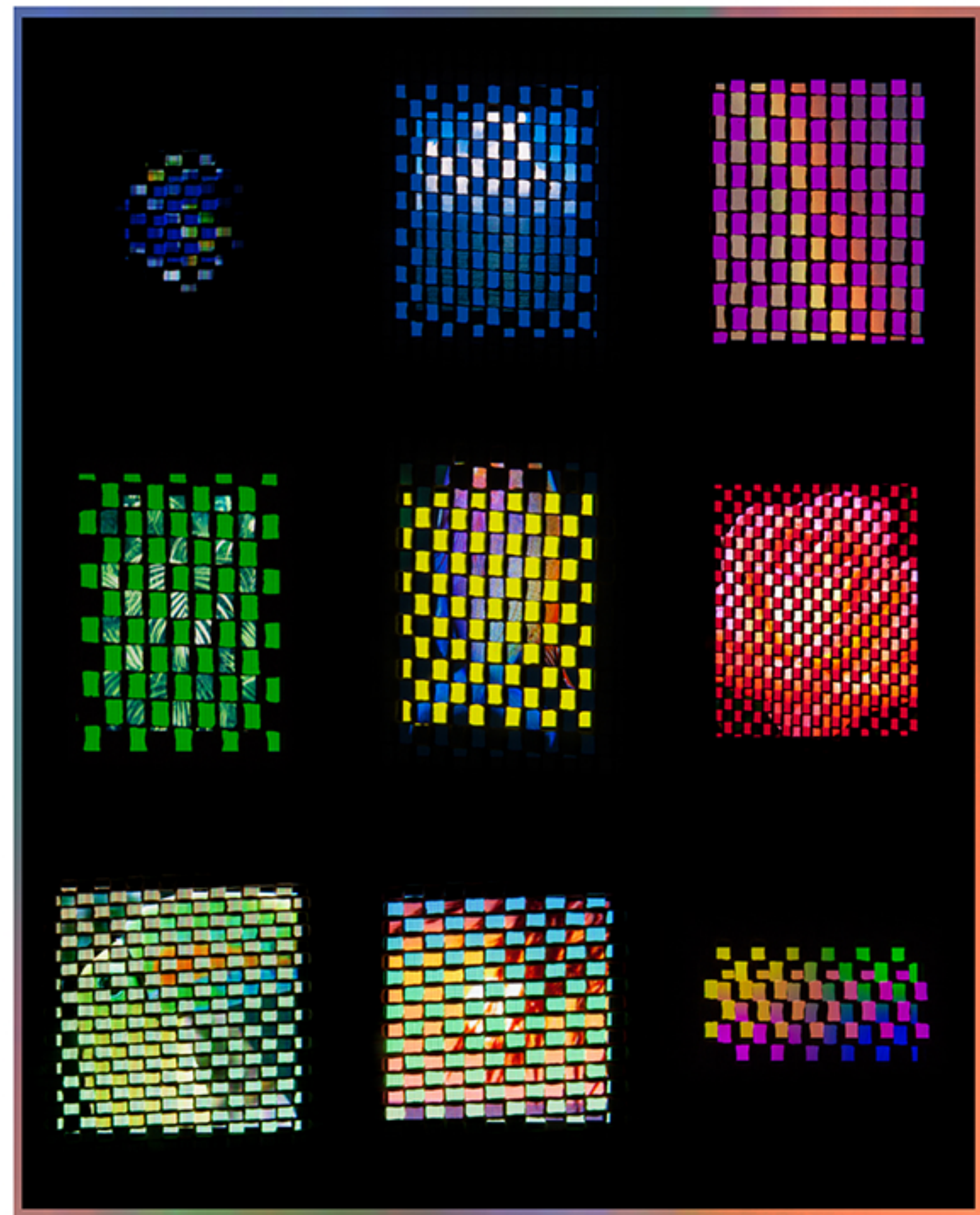
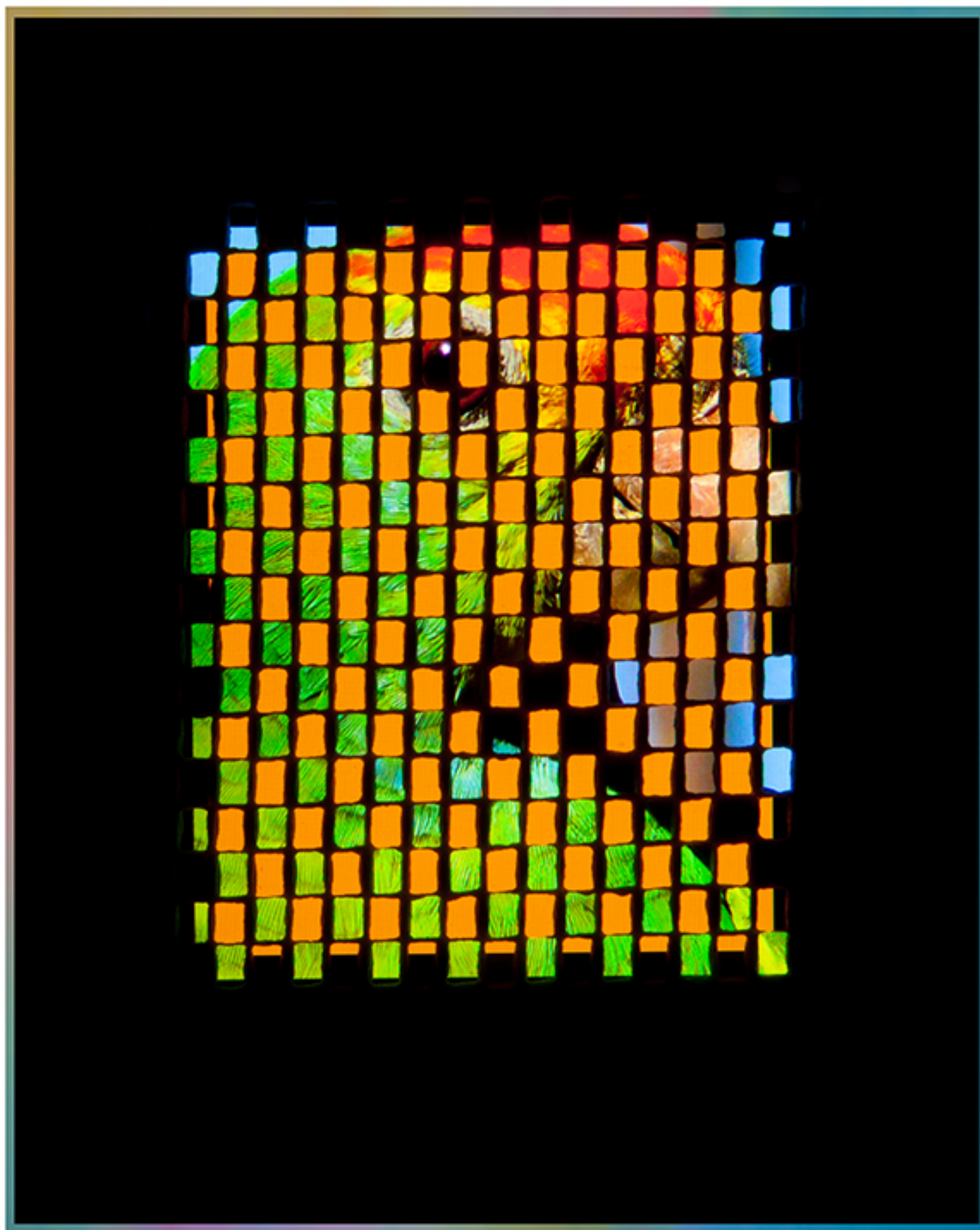












Particle Cascade.
2019

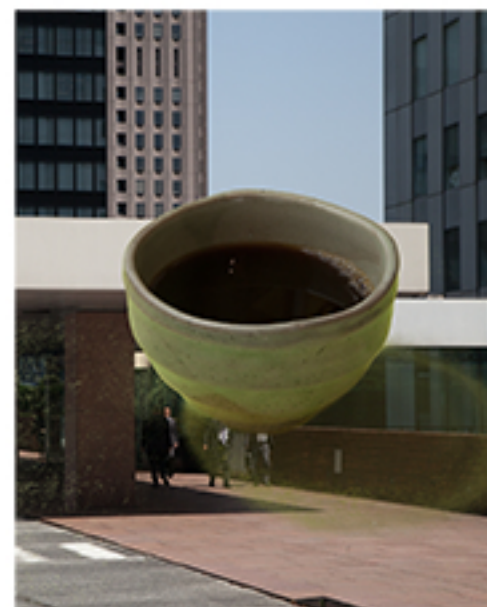


Satellite, Starlight
Multiple Exposure, 2019



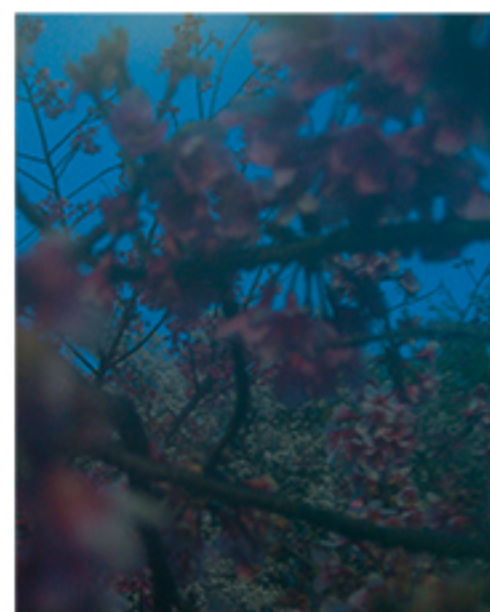
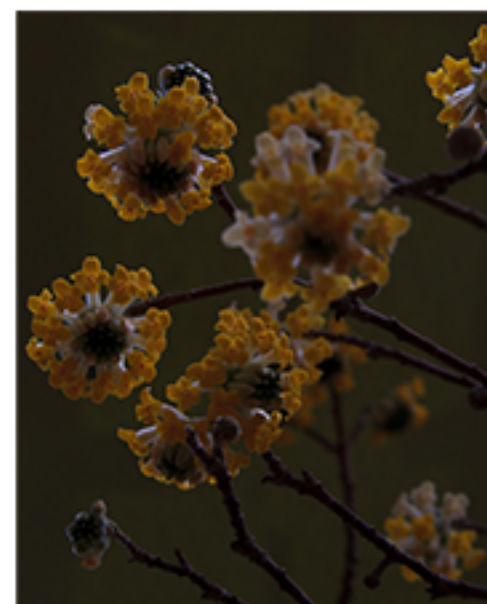
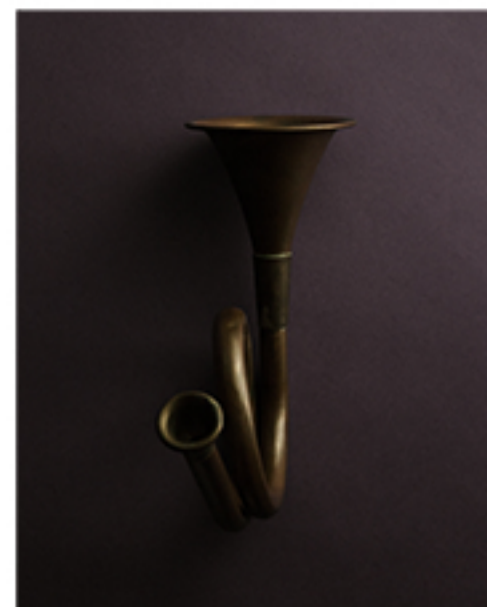
Into Darkness

A cup of coffee will take me on a trip like a chroma key cinema.
2019





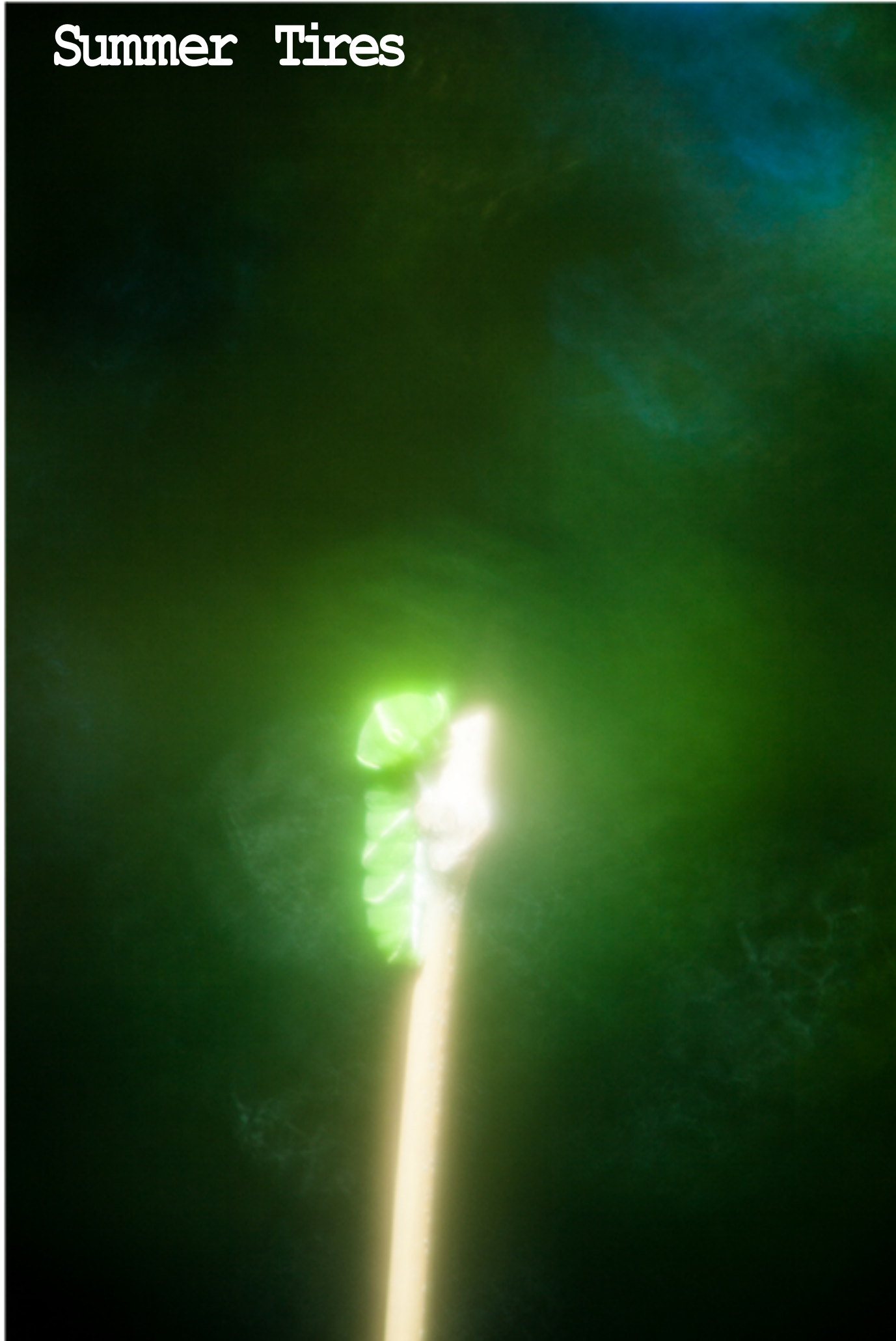
Organic Letters
Between Spring And Summer
2012 - 2019







Summer Tires



2019









2012-2013

Virtual Colony

Anywhere in Japan are filled with happy lives of these type.



2012-2016

Urban Dream

Our lifesize is the same, no pain.

CV

写真家

岡本 健太

1989 京都府生まれ

2010 個展 “distillation” 六甲ヒルトップギャラリー,兵庫県神戸市

個展 “ストレート” 1/fUrd,兵庫県芦屋市

2011 企画展 “写真展・神戸近代建築の窓” 六甲ヒルトップギャラリー,兵庫県神戸市

2012 神戸大学工学部建築学科卒業

武蔵野美術大学小林のりおゼミ写真展 “Out Project” 武蔵野美術大学,東京都小平市

2013 個展 “virtual colony” ニコンサロンbis新宿,東京都新宿区

2014 グループ展 “平成25年度 武蔵野美術大学卒業・修了制作展” 武蔵野美術大学,東京都小平市

武蔵野美術大学大学院造形研究科修了

グループ展 “平成25年度 武蔵野美術大学 造形学部卒業制作・大学院修了制作 優秀作品展” 武蔵野美術大学美術館,東京都小平市

個展 “virtual colony” ニコンサロンbis大阪,大阪府大阪市

2016 “2016年度キャノン写真新世紀佳作” 入選

グループ展 “写真新世紀 東京展2016” 東京都写真美術館,東京都目黒区

2018 掲載 “Digital issue of GUP photography magazine”, オランダ

2019 Quoz Arts Fest 2019 “New Japan Photo - Issue 7 Exhibition” CHI-KA SPACE,UAE, ドバイ

GPP PHOTO WEEK 2019 “New Japan Photo - Issue 7 Exhibition” CHI-KA SPACE,UAE, ドバイ

I NEVER READ, Kaserne, スイス,バーゼル

企画展 “Terraform” 浄土複合,京都府京都市

グループ展 “ムサビズム展 partII” 武蔵野美術大学吉祥寺校,東京都武蔵野市

PROFILE

1. 基本的なこと

時間があれば古書店、新利書店、図書館に通っている。
作品の主題の大半はSF小説の世界観からヒントを得ている。
光や色彩のゆらぎで見る人をリラックスさせるような表現を心がけている。

2. 主に風変わりな見た目の写真の撮影手法について

このポートフォリオブックの写真の大半は撮影に欠かせない身体的な移動を省略して作成した。つまり、写真を撮るために旅やロケをほとんどしなかった。いまや世界中で移動のために莫大な時間と資産が消費され、そこで膨大な数の写真が撮影されている。さらに高性能のカメラを持つフォトグラファーは世界中にいるし、前人未到の大地やルートも残り少なくなってきた。世界中の高性能のカメラが順次アップデートされるに従って、インターネットにアップロードされた世界は質と量ともに加速度的に現実を追い越そうとしている。この動きに対して私はカメラをほとんど自室から持ち出すことなく、むしろ世界中の光をカメラに迎え入れることにした。具体的には自室のパソコンディスプレイの前にカメラを構え、世界中のイメージが表示されたディスプレイの輝きを撮影した。誰にとっても既知でアップロード済みの世界をどのように写すのか。シンギュラリティというワードが一時期はあったけれどその写真バージョンの世界観を想像し、そこで私が選んだブレーススタイルがデジタルカメラによる特殊な多重露光だ。写真は複写だという

人もいるくらいだから、複写の複写もありなのかなど。さらに通常一度のシャッターでひとつの光景を記録するところを、ディスプレイを撮影しているだけだから、実際の距離を気にせず様々な光景をいちどにセンサーに露光させることができるため、リアリティの表現を思い通りにコントロールすることができる。そうして完全に自室内だけで撮影したシリーズは、日本からデータをメールで送ってアムステルダム、ドバイ、バーゼルまで移動したのちにプリントや展示、掲載してもらえた。目標の地はさらに遠く、そこはどうしても外界と孤立しがちな環境のため、プロジェクトのタイトルはSF風で、見る人をリラックスさせるような見た目の表現を心がけている。フォトグラファーにとってとても重要な移動を犠牲にすることで、快適な自室でコーヒーを片手に世界を舞台にいつでも撮影ができる。そこではマジックアワーはいつも静止していて、私の他にまだフォトグラファーはいない。夕日はアップロードされた画像の数だけ輝いているからとても贅沢でやすらかな気持ちになる。

3. 各プロジェクトの詳細

表紙(Albedo,2018)
モノクロモードで撮影された画像をディスプレイに表示し、カラーモードで多重露光。

Terraform,2017-2018
パソコンディスプレイを特殊な多重露光で撮影。
GUP magazineに掲載。

Last Flowers,2017
核実験により生じた火球や噴煙の資料を特殊な多重露光で撮影。

The Sunken Garden,2019
自動車の窓などに使用されるハーフミラーを使用。

Particle Cascade,2019
パソコンディスプレイを特殊な多重露光で撮影。

Satellite, Starlight,2019
同日に開催された2つの花火大会を一ヶ所から同時に多重露光。偶然。

Into Darkness,2019
クロマキー合成を使用。

Organic Letters,2012-2019
アンティークの小物と植物を撮影。春と夏の間の季節感。

Summer Tires,2019
主に自宅近所の公園に集まってくるスケーターを初期のコンパクトデジタルカメラで撮影。

Virtual Colony,2012-2013
実際に日本全国の住宅地を訪れ、同じような外観の住宅を同じような雰囲気で撮影。
ニコンサロンJuna21入選。

Urban Dream,2012-2016
地域差や季節感を省略し広がり続ける現代的な日本の街並み。
2016年度キャノン写真新世紀佳作入選。